

しおじり

平成26年7月15日

No. 190

6月定例会号

市議会だより



奈良井川の源流・雪渓の残る茶臼山 行者岩の展望

発行 塩尻市議会

〒399-0786

長野県塩尻市大門七番町3番3号

電話 (0263) 52-0280 FAX (0263) 52-3969

URL <http://www.city.shiojiri.nagano.jp>

Eメール gikai@po.city.shiojiri.nagano.jp

編集 塩尻市議会基本条例推進委員会
広報部会

もくじ

6月定例会トピックス	2
委員会の焦点	3
一般質問の要旨	4~9
平成25年度政務活動費支出内容	10
提出された議案及び議決結果	11
市民の声・議会あれこれ ほか	12

議会トピックス

- ▼教育委員会委員の任命など4件の人事案件に同意
- ▼助成金などを計上した平成26年度塩尻市一般会計補正予算を可決
- ▼請願2件の内、1件を採択し、意見書を関係行政庁へ提出

6月定例会

6月2日
～
6月19日



塩尻市消防団ポンプ操法大会

主な議案
議案第1号 塩尻市税条例の一部を改正する条例
「地方税法」の一部改正に伴い、法人市民税の法人税割の税率の引き下げ、軽自動車税の税率の引き上げなど必要な改正をするもの。
議案第2号 塩尻市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
「消防団員等公務災害補償

6月定例会概要
6月定例会では、条例案件3件、人事案件4件などの市長提出議案34件と、市民等からの請願2件、議員提出議案1件について審査を行いました。



等責任共済等に関する法律施行令」の一部改正に伴い、非常勤消防団員の退職報償金を一律5万円増額し、最低支給額を20万円とするなど必要な改正をするもの。
議案第3号 選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例
「公職選挙法」第172条の2の規定に基づき、各世帯への選挙公報の配布が困難な場合に、新聞折り込みその他準じる方法に代えることができるなどの規定を整備するもの。
議案第4号 教育委員会委員の任命について
委員5人のうち、1人が任期満了となることに伴い、同一委員を再任することについて議会の同意を求めるもの。
議案第13号 平成26年度塩尻

補正予算歳出（目的別）

総務費	830万円
民生費	472万円
衛生費	5,772万円
農林水産業費	25,052万円
土木費	5,297万円
教育費	302万円
合計	37,725万円

市一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出ともに3億7千250万円を増額し、予算総額を283億7千250万円とするもの。
歳出の主なものは、衛生費では、予防接種法の政省令改正により、新たに、「成人用肺炎球菌」及び「水痘」が、「種として追加されることに伴い、ワクチン代等の消耗品や、個別接種医師委託料等の必要経費を補正するもの。
農林水産業費では、平成26年2月の大雪により被害を受けた農業者の営農継続を支援するため、被害を受けた農業施設の撤去、復旧及び再建に係る「被災農業者向け経営体育成支援事業助成金」などを補正するとともに、融資を受けた資金の利子補給金を補正



本会議 起立採決のようす

議員提出議案
議案第1号 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書
請願第2号 「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願が福祉教育委員会にて採択され、意見書が本会議に提出され可決したのもの。
提出先・・・内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

するもの。
土木費では、冬季凍結による市道の舗装破損を補修するため、市道新設改良工事費を増額するものと、雪捨て場となっていた小坂田公園グラウンドの復旧整備工事費を補正するもの。

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

豪雪農業被害と凍上道路に補正予算 経済建設委員会

経済建設委員会に付託された議案は、事件案件1件、予算案件1件で、慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成26年度一般会計補正予算中の農林水産業費の農業振興費を2億5千51万6千円増額し、2月の2回の大雪によるビニールハウスの倒壊などの復興支援に充てること、また、冬季の凍上や劣化した舗装改良のため4千80万円増額するとの説明を受けました。



三才山沢配水池横の建設予定地

委員会終了後、三才山沢（通称みさみざわ）水源を活用したミネラルウォーター製造工場建設予定地を視察しました。世界的な水不足や飲料水の供給量の減少など、東日本大震災の教訓を背景に、本市の良質な水資源を活用したミネラルウォーター製造工場建設事業の提案に対する協力依頼がありました。

ふれあいセンター 建設工事決まる 福祉教育委員会

福祉教育委員会に付託された議案は、人事案件2件、事件案件1件、予算案件1件、請願1件で慎重審査の結果、全員一致で同意または、可決すべきものと決しました。また請願については全員一致で採択すべきものと

決し、意見書を提出することとなりました。教育委員の任命について委員より、今後の選任で文科省資料による平均年齢などを視点としてはどうかとの質問があり、検討課題であるとの答弁がありました。（仮称）ふれあいセンター広丘建設工事（建築主体工事）について、一般競争入札の結果により、

北信・野沢特定建設工事共同企業体との契約提案があり、落札率、集会所での飲食を伴う利用などの質問に対し、落札率は98・88%、給湯室を使い、100人程度の対応が可能との答弁がありこれを了承しました。



市教育センターでICT教育を体験

法人市民税引き下げ 総務環境委員会

総務環境委員会に付託された議案は、条例案件3件、人事案件2件、事件案件5件、予算案件1件及び請願1件で、慎重審査の結果、議案は原案のとおり可決または同意、請願は不採択とすべきものと決しました。塩尻



規約変更した両小野国保病院

市税条例の一部を改正する条例では、法人市民税の税率を26%引き下げ、軽自動車税の税率を引き上げるもの等の説明があり、軽自動車税は、全市の収入かとの問いに、その通りとの答弁がありました。両小野国保病院組合規約の変更は、厚生連に依頼し現行以外のサービスを行うためとの説明があり、移動系防災無

線整備工事は、2億9千万円余で落札し、契約締結について了承しました。請願は「集团的自衛権」に関する歴代政府見解の堅持を求める請願の説明を受け、行使することは戦争に参加することになるとの意見や、近隣諸国による国際緊張状態に対して抑止力を高める事が必要との意見がありました。

市政を問う!!

質問者

- 西條 富雄
- 中村 努
- 古畑 秀夫
- 宮田 伸子
- 中原 巳年男
- 山口 恵子
- 鈴木 明子
- 柴田 博
- 青柳 充茂
- 金子 勝寿

(質問順)

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

体育館建設 検討の視点

◆体育館建設について

問 身の丈に合った、スポーツ施設、防災施設の視点で見れば、現体育館を大規模改修し、サブアリーナを建設する案について可能性を深める検討を求めたい。他の2案は、合併特例債を使っても決して楽観できる状況にない。(鈴木)

答 大規模改修の場合、平成19年実施の耐震化工事を考慮しても改修後の耐用年数は20〜30年で、改めて建設の検討が必要となる。現敷地内にバスケットコート1面程度のサブアリーナ建設が可能であり利便性は向上する。一方可能



現 市立体育館



新体育館建設候補地の一つ

性と課題がある。新体育館建設の可否も合わせ、あらゆる視点で議論を深めていく。

◆今後の財政状況から新体育館建設は慎重に

問 新体育館建設後の10年間元利償還金と管理運営費に毎年1億円余必要になる予定だが交付金や市税収入など減少していく中で財源確保をどう考えているか。(古畑)

答 歳入では交付税の段階的な減収や市税が減少傾向で推移し、歳出では消費税引き上げに伴う物件費や扶助費の増等で増加傾向が見込まれるなど、これまで以上に厳しい財政状況が想定される。事務事業の不断の見直しによる経費の節減を徹底し財源確保に努める。

問 市民の意見をどのように聞いていくか。(古畑)

答 市民の意見を確認する必要が生じた場合には慎重に手法や時期を検討していく。

◆新体育館建設について

問 市の財政では、合併特例債を活用しての事業推進をすべきで、緊急避難施設としての事業推進は。(西條)

答 合併特例債で建設する最後の機会と認識し、早期の方針決定に向け議論していく。

◆新体育館について

問 改めて必要性は。(中村)

答 狭隘な競技スペース、倉庫・更衣室・トイレの使い勝手の悪さがある。健康づくり施設や避難施設として必要性は高い。

問 中央スポーツ公園のハートルは。(中村)

答 都市計画法で、当地域は3千㎡以上の建築物はできな



開発誘導エリア付近



問 ◆ 体育施設の利用について
テニスコートなどの「年間使用」とはどのような利用方法か。(柴田)

答 体育施設の利用拡大など



北部公園テニスコート

い。例外規定が認められれば可能だが、地区計画の変更が必要である。

◆ 住民投票による体育館建設の方向付けは

問 新体育館建設について住民が直接意思決定に関わる住民投票を実施する考えはないか。(金子)

答 住民参加型民主主義の手法の一つとして、住民投票条例について否定はしない。しかしながら、住民に対する情報提供が十分になされているのかという問題もある。具体的にどのような意思決定の方法がよいのか今後検討していきたい。



問 災害発生時における職員体制と避難所の物資の備蓄について。(中原巳)

◆ 災害に備え 安全な まちづくりを
災害時市民の安全対応について

が、他にも使用上の問題点があるため検討していきたい。

問 年間使用は、市民に限定しているが、「使用は市民以外でもよいが、減免は市民だけ」という原則に反している。条例改正して市民以外も可すべきではないか。(柴田)

答 年間使用については市民を優先したいというところはあるが、他にも使用上の問題点があるため検討していきたい。

のため市民に限定して予約の入っていない空き時間にのみ使用を認めている方法である。



貸し出し用のAED3台は市の健康づくり課へ申し込み

問 AED訓練の講師申し込みはどこへするのか。(古畑)

答 松本広域消防局または市の福祉課へお願いしたい。

◆ 市民への訓練の機会拡大を

問 道路、橋梁の老朽化対策の財源、技術者についてどの様になっているか。(中原巳)

答 平成23年度から計画策定し国の交付金事業を取り込み計画的に修繕を進めている。

問 災害対応の徹底を図っている。公民館など避難所に物資を常備することは在庫管理などの点で難しい。

答 災害応急対策マニュアルに基づき、職員の配備体制、災害発生時に必要となる対策等を講じることとなっている。マニュアルは全職員に配布し災害対応の徹底を図っている。公民館など避難所に物資を常備することは在庫管理などの点で難しい。

教育環境の整備

◆ 通学路の速度制限「ゾーン30」について

問 通学路の交通安全にゾーン30の整備を。(西條)

答 地域からの要望で市と警察で調査検討する。現在宗賀小学校周辺で準備している。

◆ 学校登山について

問 「山の日」「信州山の日」が制定されたが学校登山の継続は。(西條)

答 生きる力をはぐくむためにも貴重な体験となる登山は、各学校で継続する。

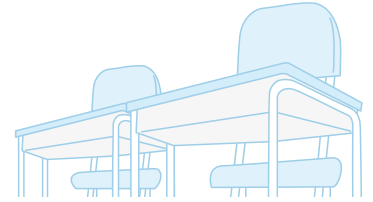
◆ 学校給食について

問 第三子以降の給食費の無料化を。(宮田)

答 第五次総合計画策定の中で総合的に検討する。



ゾーン30規制した地域



毎食提供されている牛乳

問 日本型食生活を実践するため、献立に応じて牛乳をお茶にかえてはどうか。(宮田)

答 研究をしていく。

◆ 中学校の部活動について

問 生徒数減少で部活の廃止もある。練習は合同で出来るが、大会に出場できない制度を見直す必要がある。(宮田)

答 中体連に要望する。

◆ 教育委員会制度改革

問 国会で審議されている教育委員会制度改革案は、市長が主催する「総合教育会議」で「大綱」を策定することや、教育委員会と教育長の関係が逆転することなど、その独立性をなくし国と首長の支配下におこうというもの。市長の考えはどうか。(柴田)

答 教育委員会を尊重し、首長と教育委員会との連携を一層図っていききたい。



◆ 全国学力テストの公表は

問 学校ごとのテストの結果公表についてどう考えるか。(古畑)

答 学校名の公表は問題が多いので慎重に検討していく。

◆ 子育て支援策について

問 就学援助制度利用者の状況、利用の可否認定の基準となる生活保護基準切り下げの影響はどうか。(鈴木)

答 生活保護基準削減の影響を受けないよう改正前の基準で認定事務を行っている。支給状況は平成25年度623人で年々増加してきている。

◆ 出産・育児の支援強化を

問 子育てと仕事の両立は難しい。女性の能力を生かした就労支援が必要では。(山口)

答 子育て中の母親を対象に意識啓発の為にセミナーや資

格取得講座を開催し、インターネット研修を実施していく。**問** 核家族化や虐待防止等から出産前後の切れ目のない支援が必要だと思うが、産後ケアについての考えは。(山口)

答 育児不安や過労、高齢出産等から両親の支援が得にくい状況もあり出産直後の母子の支援は重要。人材確保の課題もあるが充実を図りたい。

障がい者の暮らしを支える

◆ 障がい者支援について

問 関係課とも連携を取り、障がい児・者がスポーツに親しむ機会を増やして。(宮田)

答 情報提供や募集方法を工夫し、障がい者の健康増進と



松本・塩尻・安曇野・東筑合同障がい者スポーツ大会

社会参加を促していく。



保健福祉センター内にある喫茶コーナー

問 計画より遅れている。一日も早い設置を望む。(宮田)

問 重度障がい者生活支援施設を設置を県社会福祉事業団に働きかけているか。(宮田)

答 候補地を選定中である。

◆ 障がい者雇用の拡大を

問 障がい者施設では安定した収入が得られにくいのが工賃アップの対策は。(山口)

答 障害者優先調達推進法が施行され、本市では80万円の目標額を立て各障がい者施設から優先的に購入している。

国保の安定運営を

◆ 払える国保にするために

問 平成25年度の国保財政の状況はどうか。(柴田)



新診療所の建設予定地

問 前年比で、収納率は0.2%低く、収入未済額は1千200万円多くなる見込み。また、国保税額は県内19市では上から2番目の位置となっている。

答 今後これまでの半分値上げ、残り半分は一般会計からの繰入れという方法をいつまでも続けることはできない。財政調整基金を活用して国保税額を一度下げることが必要だと考える。(柴田)

◆地域包括ケアについて

問 医療介護連携の進捗はどうか。(中村)

答 医師会や介護事業者等による準備会を立ち上げ、仮称「医療・介護連携推進協議会」を本年度開催する予定だ。

問 両小野国保診療所移管後の富士見高原医療福祉センターとの連携はどうか。(中村)

◆多機能付電話機購入補助制度について

問 留守番電話やディスプレイ付電話機を、高齢者家庭に設置して被害防止に繋げるための購入補助制度は。(西條)

答 くり返しの丁寧な啓発活動をしていく。

問 普及状況を把握して調査研究することを望む。(西條)

◆3Dプリンターの銃コピー規制について

問 市の購入補助推進と銃コピーの規制はどうか。(西條)



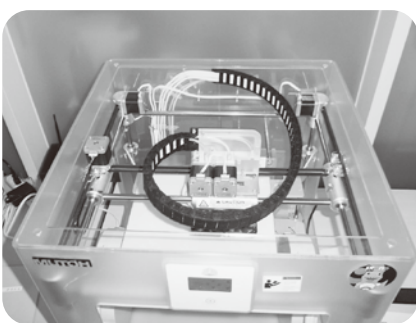
ディスプレイ機能付き電話機

◆地域ケア推進会議のモデル地区として調整する。

◆振込詐欺対策について

問 高齢者に急増する振込詐欺被害への対策は。(西條)

答 本年度設置された消費生活センターを中心に、自衛策等の広報活動を強化し対応する。



SIPIに設置されている3Dプリンター

◆3D活用促進事業を新設した。規制は国の動向に注視し対応する。

◆地域活性化モデルケース

問 地域活性化の推進に関する、関係閣僚会合において決定された市の提案だが、内容と期待するものは。(中村)

答 「森林資源の循環活用による、持続可能な田園都市づくり」という提案で、第五次総合計画の目指すところである。具体策への財政支援や規制緩和が期待できる。

◆信州Fパワープロジェクトによる塩尻市への効果は。(中原巳)

答 未利用地の有効活用、年

信州Fパワープロジェクト



信州Fパワープロジェクト建設予定地 (西松・ハシバ特定建設工事共同企業体撮影)

問 2千万円余の賃借料収入、設備投資による固定資産税収入など、新たな財源確保、施設稼働後の雇用効果、計画的な森林整備と森林資源の有効活用など市内林業の活性化が期待できる。

◆管路による熱利用は土地用途、経費など課題が多いと思われるがどうか。(中原巳)

答 製材施設から大量に発生する「おが粉」を活用し「木質ペレット燃料」について検討を行っている。化石燃料から再生可能エネルギーである「木質ペレット燃料」に転換していくことは、地球温暖化防止に寄与することが出来、本年度、建設する「(仮)ふれあいセンター広丘」にペレットボイラーを導入するなど公共施設への導入を検討する。



甚大なひょう被害を受けたレタス

農業再生を

さらに



◆地域と農業の再生に向けて
農業後継者不足が深刻になつているが、今後の後継者育成対策は。
(古畑)

答 人・農地プランや青年就農給付金制度、首都圏での県の就農相談会の活用等に積極的に取り組んでいく。

問 降ひょう被害農家がやる気を失わないように県と共に被災農家に対する支援を要請する。
(古畑)

◆安倍政権の農業改革

問 政府の「規制改革会議」から農業委員会制度、全国農協中央会の全面見直しなどの意見書が出た。農村社会が、

守ってきた農地、農業を財界のビジネスチャンスのように扱われてはならないと思うが、市農業は守れるか。
(鈴木)

魅力ある塩尻市をアピール



◆塩尻市の魅力・発信戦略

問 観光ブランドだけでなく本市の魅力をとータルしてアピールすることは市の経済や人口に大きく影響する。戦略的に発信する事が重要だ。今



守りたい塩尻市の農業

答 実効性ある制度改革は必要だが、国の政策や社会変動中でも展望ある農業経営を進めていけるよう農業委員会、農協と共に連携を強め、農業者だけでなく、消費者がともに支える農業再生に取り組み



魅力あるまちづくりに活用を

後の対策は。

(山口)

答 団体・事業者・市民等が連携し一元的に市内外へ発信していきたい。特に子育て世代をターゲットとしフェイスブックやツイッター等も活用したい。

問 塩尻の応援歌「大好き☆塩尻」は市の魅力や歴史・文化が物語になっていて人気だ。活用への考えは。
(山口)

答 市振興公社が「まちづくり応援部長」として公認した「玄蕃サラ」のイメージソングで、活用を図っていく。

◆道の駅・桔梗ヶ原の設置

問 ワイン街道構想もある桔梗ヶ原を塩尻ブランド発信の地にしてはどうか。新たな雇用も生まれるが。
(宮田)

答 多くの民間施設が立地しており、現在構想はない。桔

人口減少に工夫ある対策を



◆人口減少に歯止めを！

問 市の人口は第四次総合計画で目指した7万1千人を約4千人も下回る見込みとのことだが、計画との大幅な乖離の要因分析は。
(青柳)

答 長引く不景気に世界的金融危機が拍車をかけるなど想定困難な事象が背景にあり、急激な人口の社会減少が続き、出生者数の減少傾向が続いたことも要因の一つだ。

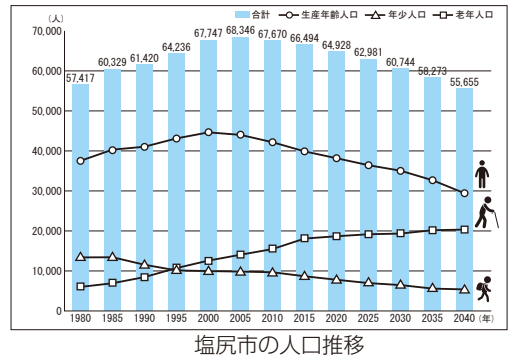


豊かな田園風景で人口誘導



問 数値目標の設定の仕方に関係はないか。人口統計学で計算した将来の人口推計には幅があり、推計値が振れると目標値も変わってしまう。市内10地区66区の実態を踏まえた区民による人口目標値を積み上げる方法など、市独自の手法、市民との協働で取り組むやり方を研究、検討する必要があるのでは。(青柳)

答 指摘のとおり、施策の展



問 第五次総では、人口減少にどう対処するのか。教訓を生かす必要がある。数値目標はどう立てるのか。(青柳)

答 人口減少の急速な進行は重大事態と捉え、平成35年度目標人口を6万5千人以上と設定し、具体的な人口誘導策を検討していく。



宿泊体験施設としての空き家活用は…

問 施策の具体化を進めたい。人口目標達成のための宅地確保対策はどうか。(中村)

答 1千300人増の目標の住宅

問 ふるさと寄付金の御礼に「塩尻宿泊体験ご招待券」を贈り、未使用の教職員住宅などを活用し、滞在の機会を設けてはどうか。(宮田)

答 イターン施策について

問 個々の施策がバラバラのままではなく、全体として人口誘導に体系化されて行くことが大切だ。合併特例債に依存したハコモノ建設主義からは脱却し、安定的な人口を確保出来るか、それで市政担当事の評価は決まる。(青柳)

開には地域の多くの主体の参加が必要不可欠。今後の、中期戦略具体化の中で、より多くの主体に参画を促す仕組みづくりに取り組みたい。

問 できたことはなにか。(金子)

答 選挙公約と合わせ、第四次総合計画の実行に取り組み、概ね順調に進んでいると確信している。市街地の整備・再編については、塩尻駅の駅前周辺整備の事業は完了、広丘

問 3期12年の市政運営の成果と将来

小口市政 3期を検証

答 全体で42haの宅地開発が必要。開発誘導エリア10ha市街化区域20ha等で、1千400区画という試算をし、市外からの転入予測等を考慮し積み上げをしている。



開発誘導エリア



整備事業が完了した塩尻駅前

問 実現に至らなかった分野としては、新築に向け検討を始めた市民体育館については、当初想定していた平成26年度完成期限とした方向付けにはいたっていない。しかしながら、財源も含めた十分な情報公開により、今年度末までに民意による方向付けをしたい。

問 駅前は年度未完了予定。経済分野では、17年に地域ブランド戦略を策定して以降、大都市向けに集中的な活動を行い、桔梗ヶ原ワインの知名度が大幅にアップしている。また教育分野では、30人規模学級の導入、米飯給食の拡大などの施策を推進してきた。

答 実現に至らなかった分野としては、新築に向け検討を始めた市民体育館については、当初想定していた平成26年度完成期限とした方向付けにはいたっていない。しかしながら、財源も含めた十分な情報公開により、今年度末までに民意による方向付けをしたい。

政務活動費とは？

地方自治法と条例に基づいて、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市長が議会の会派へ、所属議員1人あたり年額9万円を交付するものです。

平成25年度は、全ての会派が交付を受け、使途基準に基づき、適正に支出をしました。

※より詳しい金額、支出内容は市議会ホームページに掲載しています。領収証の写し等につきましては、議会事務局で閲覧できます。

平成25年度 政務活動費

各会派の支出内容(概要)

○明政会

塩原・五味・森川
西條・宮田

広島県府中市「小中一貫校を全市に導入した実績等について」北九州市「北九州スマートコミュニティについて」

武雄市「武雄市図書館の指定管理者制度導入について」長崎市「ささえあいプランについて」箕面市「緊急プラン・ゼロ試験について」教育委員会について「教育委員会について」「教育関係(幼・小・中)について」教育・環境問題・福祉と、当市のことからの課題解決に向けて先進地視察を行いました。

○新政会

牧野・中原輝・金田
金子・横沢

「Jリーグクラブとホームタウン自治体との連携について」兵庫県神戸市をホームとするヴィッセル神戸へ調査視察を行い、TDRのように、地域を対象とした割引などを行う試合を設け、観客動員を増やすことや、特産物などを試合会場で販売するなどクラブと自治体が連携し、サッカー

ーを通じた地域振興について理解を深めました。その他にICTによる学校教育や行政事務効率化についての視察を行いました。

○市民派連合

永田・丸山・古畑

行政視察では熊本県庁で「糖尿病予防対策の取組み」、同県八代市で「農産物の六次化の取組み」を、及び鹿児島市「環境未来館での環境教育」の取組みを学んだ。特に熊本県は産学官連携でブルーサークルメニューを考案し、県内飲食店の協力で実施している点、また環境未来館はデザイン性と世界視野の展示が斬新で、それぞれ参考になり、議会の質問や提言に役立てた。その他、新エネルギー関係の書籍等を購入し役立てた。

○自由民主クラブ

務台・青柳・永井

自由民主クラブは、行政視察経費と、塩尻市住宅地図など図書購入費に充てました。視察は、塩尻市の農業再生には、六次産業化の推進を強化すべきとの会派統一見解のもと、国と県及び市町村との連携による六次産業化の先進

事例、沖縄県を訪問しました。内閣府沖縄総合事務局農林水産部で、県としての六次産業化の推進の全体像、経過と現状、課題等について聞いた後、具体的事例を4件、現地視察を行いました。

○市政同志会 中原巳・青木

塩尻市で検討される新体育館建設について5千平方メートル規模の体育館の視察、福岡県久留米市、みずま総合体育館、大分県佐伯市総合体育館、中津市総合体育館を視察、どの体育館もメインアリーナ、サブアリーナなど体育館使用には十分であった。また平日昼間の利用率が高く市民の健康づくりの場として利用されている。茨城県鉾田市では、生産者による農業施設直売所と六次産業化の取組みについて視察をした。



○公明党 中村・山口

4月16日～18日まで、北海道釧路市・根室市にて、生活保護自立支援事業・森林事業計画・北方領土学習事業を行う視察し、先進事例として、質問の参考としました。2月20日、長野県庁林務部にて、信州Fパワープロジェクトの中の、サプライチェーンについて調査を行いました。公明議会だよりを2回、8ページをそれぞれ2千部発行し、情報の発信に努めました。資料作成のため、インクカートリッジを購入しました。

○日本共産党 柴田・鈴木

第55回自治体学校in新潟(後援・新潟県、新潟市、新潟市議会議長会、新潟町村会他)に参加し、講演などを通じて、福祉国家型地域づくりへ、幅広い社会層による参加型の活動の重要性を学び、道州制の課題等については、東日本大震災などの事例により研修を深め、分科会では、地域経済を活性化する公共事業への転換、良質な公共サービスにむけてどう取り組むか、今後の市政チェック、政策提案に生かす視点を学びました。

6月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（34件）

番号	件名	採決結果		議決結果	番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対				賛成	反対	
議案1号	塩尻市税条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	3号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
2号	塩尻市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	4号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	-	-	報告受理
3号	選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例	21	0	原案可決	5号	平成25年度塩尻市一般会計補正予算（第7号）の専決処分報告について	-	-	承認
4号	教育委員会委員の任命について	21	0	同意	6号	平成25年度塩尻市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について	-	-	承認
5号	公平委員会委員の選任について	21	0	同意	7号	平成25年度塩尻市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）の専決処分報告について	-	-	承認
6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	21	0	同意	8号	平成25年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分報告について	-	-	承認
7号	人権擁護委員の候補者の推薦について	21	0	同意	9号	平成25年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	-	-	承認
8号	両小野国保病院組合規約の変更について	21	0	原案可決	10号	平成25年度塩尻市国民健康保険榑川診療所事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	-	-	承認
9号	塩尻市庁舎耐震化・大規模改修工事（建築主体工事）請負契約の変更契約の締結について	21	0	原案可決	11号	平成25年度塩尻市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	-	-	承認
10号	塩尻市庁舎耐震化・大規模改修工事（機械設備工事）請負契約の変更契約の締結について	21	0	原案可決	12号	平成25年度塩尻市線越明許費線越計算書について	-	-	報告受理
11号	塩尻市庁舎耐震化・大規模改修工事（電気設備工事）請負契約の変更契約の締結について	21	0	原案可決	13号	平成25年度塩尻市水道事業会計予算線越計算書について	-	-	報告受理
12号	市道路線の認定について	21	0	原案可決	14号	平成25年度塩尻市下水道事業会計予算線越計算書について	-	-	報告受理
13号	平成26年度塩尻市一般会計補正予算（第1号）	21	0	原案可決	15号	平成26年度塩尻市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
14号	塩尻市デジタル移動系防災行政無線整備工事請負契約の締結について	21	0	原案可決	16号	平成26年度一般財団法人塩尻市文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
15号	（仮称）ふれあいセンター・広丘建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について	21	0	原案可決	17号	平成26年度一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
報告1号	塩尻市税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認	18号	平成26年度一般財団法人塩尻市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理
2号	塩尻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	-	-	承認	19号	平成26年度一般社団法人塩尻市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について	-	-	報告受理

議員提出議案（1件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
議会1号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する意見書	21	0	可決

請願処理状況（2件）

番号	件名	採決結果		議決結果
		賛成	反対	
請願1号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持に関する請願	21	0	採択
2号	「集团的自衛権」に関する歴代政府見解の堅持を求める請願	8	12	不採択

6月定例会 賛否が分かれた議案（請願）の採決結果

番号	件名	議員名																				
		宮田伸子	横沢英一	西條富雄	青木博文	務台昭	金子勝寿	山口恵子	牧野直樹	古畑秀夫	金田興一	永井泰仁	森川充三	青柳充茂	中原巳年男	鈴木明子	中村努	丸山寿子	柴田博	塩原政治	永田公由	中原輝明
請願2号	「集团的自衛権」に関する歴代政府見解の堅持を求める請願	○	×	×	×	×	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×

・賛成は○、反対は×、退席は－ ・議長は表決に加わらないため、21人の議員で採決が行われました。

現今の高齢化社会で一番問題視されるのは医療費の増大だ。介護入院で認知症を伴う入院が増大の最大原因で、国政や地方行政

高齢化社会を生き抜く心構え



北小野 善助さん

法と思う。ダイヤモンド婚も済み、88歳86歳の老夫婦は口喧嘩もする日々の中で、他人に苦労かける死にはしたくないと日々願っている。私は月2回のカラオケ会合を唯一の楽しみに参加し、昼食休憩時にその時の情報を持ち寄り意見交換し「呆」防止に努めている。

市民の声

ささやかなお手伝い



石 寿文さん

退職した翌年百姓のDNAが、アスパラガス栽培を始めました。良き指導者に恵まれ、妻と二人で頑張れる程度に毎年作付面積を増やしてきました。なぜアスパラか？私達の体力の衰えと、アスパラガスの寿命が同じと思ったからです。

た、県農政部とJA長野の連携で苗の無償配布も知り、費用の削減も出来ました。今回は県と塩尻市の補助を活用しましたが、他にも色々な補助がありそうです。県、市の広報やホームページを参考に新しい楽園人生をしてみませんか。

市議会レポート

委員会審査で議員問討議を開始しました

かねてから検討していた「議員問討議」を開始しました。これにより、委員会の審査の中で、委員が議案などに對して賛否を表明する「討論」の前に、議員同士での自由な意見交換が行えるようになります。6月定例会では総務環境委員会の請願審査中に行われ、集团的自衛権について数人の委員から意見が示され、審査の参考としました。塩尻市議会は市民に開かれた議会を目指しており、会期終了約3ヶ月後に委員会会議録をホームページで公開しているほか、委員会審査も自由に傍聴することができ、市役所4階議会事務局までお越しください。日程については、市議会ホームページをご参照いただくか、議会事務局までお気軽にお問い合わせください。市民のみなさまに、ぜひ委員会審査の様子をご覧ください。



初めての「議員問討議」が行われた

9月定例会の予定

Table with 2 columns: Date (開会日) and Session Type (一般質問, 委員会審査, 閉会日)

会議の日程は変更になる場合があります。

本会議を生中継しています！

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っていきます。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

議会あれこれ

◆今年度の議会だよりの表紙写真は「山」と決めた。第1回目は市内の最高峰「茶臼山」の名が挙がった。その写真はだれが撮りに行くのやら…。◆写真を提供して頂ける方を探していたら、「撮りに行くなら案内するよ」と言ってくださる方が見つかった。登り始めの胸突き八丁に、先の不安を感じつつ大樽小屋を指した。雨にも降られたが、幸運にも雪深の残る「茶臼山」の姿をカメラにおさめることができた。「茶臼山」は2千600m級の山。写真が撮れるのは2km辺り。御案内いただいたお二人の御協力がなければ到底実現できない企画であった。関係者皆様の御好意に感謝。◆今話題になっている新体育館建設について、塩尻市にふさわしい新体育館のあり方について今後市民のみなさんと共に考えていきたいと思えます。市民の御意見を！

議会基本条例推進委員会 広報部会

- 鈴木 明子, 五味 東条, 山口 恵子, 永井 泰仁, 宮田 伸子, 横沢 英一, 古畑 秀夫

◎ 部長 〇 副部長